



冬らしさをあまり感じることなく、間もなく3月を迎えようとしています。午後まで授業がある日は明日で終わります。部活動などもあるでしょうが、3月は午後の時間を有効に活用してください。

昨日は「国立大学の前期日程試験」があり、本校でも約30名の3年生が千葉大学や千葉県立保健医療大学をはじめ、全国の国立大学を受験しました。一方、私立大学入試は少しずつ結果が判明しつつありますが、結果が思わしくなく、これから3月入試（後期入試）に挑む3年生は例年よりも大幅に増加しています。3月入試は、すでに合格者の大半が決まっているため、募集人員はわずかで非常に高い倍率となり、難易度も高くなりますが、3年生には最後まで粘って欲しいと思います。

① 【 大学入学共通テスト：「問題作成方針」が発表されました 】

国語・数学の記述問題の導入見送りに伴って見直された「令和3年度の大学入学共通テスト（現2年生が受験）」の「問題作成方針」などが大学入試センターから発表されました。概要を抜粋してお知らせしますが、詳細は大学入試センターのHPなどで確認してください。

- ①. これまでの「センター試験の良問の蓄積を受け継ぎつつ作成」される。
- ②. 「思考力、判断力、表現力」を発揮して解くことが求められる問題が重視される。
- ③. 学習の過程を意識した問題の場面設定が重視される。
 - ・「授業において生徒が学習する場面」・「資料やデータ等を基に考察する場面」
 - ・「社会生活や日常生活の中から課題を発見し、解決方法を構想する場面」 など
- ④. 「教科書を基礎とする」が「教科書等で扱われていない資料等」を扱う場合もある。
- ⑤. マーク式問題の新たな出題形式として「連動型の問題」を出題する場合がある。
連動型問題とは・・・連続する複数の問いにおいて、前問の答えとその後問いの答えを組み合わせて解答させ、正答となる組み合わせが複数ある形式
- ⑥. 出題教科・科目ごとに、以下のような「問題作成方針」が検討されている。（以下抜粋）

【国語】・・・大問ごとに一つの題材で問題を作成するだけでなく、異なる種類や分野の文章などを組み合わせた、複数の題材による問題

・試験時間は80分（記述が見送られたため当初の予定100分より短くなり、現行と同じに）。

【世界史・日本史】・・・教科書等で扱われていない初見の資料であっても、そこから得られる情報と授業で学んだ知識を関連づける問題

・仮説を立て、資料に基づいて根拠を示したり検証したりする問題

・歴史の展開を考察したり、時代や地域を越えて特定のテーマについて考察したりする問題

【現代社会】・・・文章や資料を読み解きながら、図や表など、多様な資料を用いてデータに基づいて考察し、判断する問題

【倫理】・・・原典資料等、多様な資料を用いて、様々な立場から考察する問題

【政治経済】・・・各種統計など、多様な資料を用いて、様々な立場から考察する問題

【数学】・・・「数学I」「数学I・数学A」の試験時間は70分（現センター試験より10分長い）

・日常の事象や数学の良さを実感できる題材

・教科書等では扱われていない数学の定理等を、既知の知識等を活用しながら導くことのできるような題材

【理科基礎】・・・身近な課題等について科学的に探究する問題

・得られたデータを整理する過程などにおいて数学的な手法を用いる問題

【理科】・・・センター試験で出題されてきた理科の選択問題については設定しない。

【外国語】・・・発音、アクセント、語句順序などを単独で問う問題は作成しない。

・実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や場面、状況の設定を重視する。

・リーディングでは、様々なテキストから概要や要点を把握する力や、必要とする情報を読み取る力等を問う。

・「リスニング」では、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。

・1回読みと2回読みの両方の問題を含む。

・「リーディング」と「リスニング」の配点を均等とする。

※ ただし、どの技能にどの程度の比重を置くかについては各大学の判断となる。

すでに公表された例では、千葉大学・・・リーディング：リスニング＝4：1

明治大学（政経学部）・・・リーディング：リスニング＝1：1

（商学部）・・・リーディング：リスニング＝3：2

など、大学により、また同じ大学でも学部により配点比率が異なるので注意が必要です

★ 共通テストに変わっても、基本的な知識・理解の定着がまず第一であることに変わりはありません。授業を大切にして基礎をしっかりと固めるとともに、試行テストの問題に取り組んだり、共通テストタイプの模試を数多く受験したりして、慣れておくことも大切です。

②【公務員就職について】

千葉西高校では、ほとんどの生徒が4年制大学へ進学しますが、公務員になったり、民間企業に就職したりする人もいますので、公務員就職について少し触れてみたいと思います。

不況にも強いと言われる公務員は根強い人気を誇っていますが、公務員には様々な職種があります。公務員を希望する人はまず、自分がどの職種になりたいのか、どの試験を受けるのか、よく調べ、よく考えてください。国家公務員採用試験の受付は、早くも6月22日に始まります。

公務員試験の内容は、基本的には、

(1)「教養試験（社会科学、人文科学、自然科学から万遍なく出題される）」

(2)「適性試験（計算、照合、置換、分類、図形把握など）」

(3)「作文試験」

(4)「面接試験」等からなりますが、いずれも公務員試験特有の対策が必要になります。

学校では、『大原法律専門学校』や『東京IT会計法律専門学校（学校法人立志舎グループ）』などの無料の公務員対策講習などを案内しています。この3月にも多数の無料講座が実施されますので、まずはそれらを受講してから対策を練るのがいいと思います。

千葉西高校 過去6年間の、公務員就職先

令和元年度（現3年）	2名（内定）	千葉県警（警察事務），袖ヶ浦市役所
平成30年度(33期生)	0	（公務員受験無し，民間就職1名）
29年度(32期生)	1名	陸上自衛隊
28年度(31期生)	5名	千葉県職員，千葉県警（警察事務），千葉県学校事務員，法務省，東京都消防局
27年度(30期生)	3名	外務省，内閣府，市原市役所
26年度(29期生)	2名	千葉県職員，千葉県学校事務員